

社会の勉強法

日本史

世界史

政治経済



日本史勉強法

- 復習を完璧に！！！！

- 1. 学校や、塾の先生の講義を聞く



- 2. 先生が強調していたところ、穴抜きのキーワードに該当する部分の教科書の範囲をみてそこに行き着くまでの「流れを含めて」理解を深める



- 3. ある程度知識が蓄積されてきたら、問題集や過去問に取り組む

- 私は塾で日本史を選択しておらず、独学で勉強しました。私は赤本を解き始める時期が遅かったのですが、もう一度受験生をやり直せるなら赤本は夏休みが終わるまでに解くことはしなくても、問題の傾向は見ると思います。
- なぜなら、解いているうちにその大学ごとに好む「時代」があるということに気がついたからです。
- 明治大学商学部は、江戸、明治時代が多いなと思うと同時に2年おきくらいに、似たような問題が出題されていることに気がつきました！
- このように、問題を見てみてその大学が好む傾向に気がつくということもあるので、自分が志望校と何が足りないか明確化して勉強するためにも、赤本を1度見て記述があるか、選択が多いかなどを把握し志望校との距離をつかむことをおすすめします！

わたしの世界史優勝法

- 経営学部1年 **教科書をあなどるな**

1. **トライさんの動画(無料)をみる**



2. **動画の該当する部分の教科書を大事なところに線(赤シートで消える青ペン)を引きながら読む**



3. **場所がでたら、資料集をみる!**

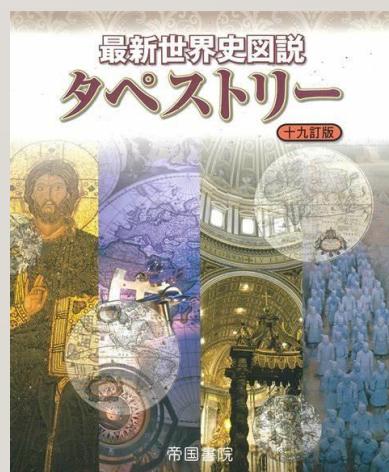


4. **用語集をみて細かい語の確認!**

私は塾で世界史をとっていませんでした。三年の夏と冬に講習だけとったのですが、正直自分でやるほうが時間効率がいいです(笑)また、早稲田などを受けたいと思ってる人は用語集に走りがちなのですが私が受けた代の経営は、教科書に書いてあって、用語集に書いてない事がたくさん出たため、足元をすくわれている人が多かったです。教科書の太文字ではなく、普通の文字の大きさの文がよく出ていました!例えば、フランスの7月14日はなぜ、何の日なのかなどです。暇なときに教科書を見て、1周目に時間をかけるよりも何周もして暗記することが大事です!頑張ってください!

文学部2年

私は問題集を使用せず、学校で使用していた教科書、用語集、資料集のみで勉強していました。特に年号と用語をセットで覚えて複数の流れを理解しました。また、模試などのテストを通して自分の苦手分野をなくすようにしていました。世界史は複数の場所と時代の流れが複雑でごちゃごちゃしてわからなくなることも多いと思いますが、何度も繰り返して覚えることが大切です!



明治に受かる政治経済の勉強法

政治経済学部経済学科一年作成

・参考書を完璧に！

1冊自分で決めた参考書をじっくりと数回読み、暗記する。
(私は蔭山の政治経済の参考書を使用していました。)ただし明治大学の問題は共通テスト対策の参考書ではレベルが低いと思われる。

・赤本は早めに！

明治大学の政経の問題は知識問題が多く難易度も高いが、過去問からの出題がそれなりにあるため、英語国語はまだ過去問に手を付けられないとしても政経は解いたほうが良い。また、他学部の過去問と似たような問題が出ることもあるので、一つの学部に絞っている人でも、政経だけは他の学部の問題を解くことも対策になる。

・時間をどれだけかけるか！

上述したように、明治の政経の問題はなかなか難しいため、得意な人でもそれなりに時間をかけないと点数が取れないと思われる。しかし基本的に英語の配点が高いため、英語が疎かになっては元も子もない。そのため赤本やホームページからある程度の目標点数を決め、それを達成するための勉強時間配分をするべきである。(目安として、政経が得意な人は1~3時間、苦手な人は2~5時間、一日の半分以上費やすのは好ましくない)

オススメの参考書

- ・ 蔭山の政治経済
- ・ 畠山の政治経済
- ・ 赤本



学プロから受験生へ！

文学部2年

たくさん覚えることがあって大変だと思います。基礎をしっかりと固めることで、たくさん問題を解けるようになります。今は大変な時期だと思いますが、ぜひ頑張りましょう！

経営学部1年

きっと1、2年後の自分を想像出来ず不安な毎日かもしれませんが、誰が第一志望に受かって、誰が望む結果にならないかなんて、もちろん自分も、塾の先生も、学校の先生も、友達も誰にもわかりません。模試がどんなに低くてもめげずに、周りからなにを言われても、受かるは自分であって、大学生活を送るのも自分の人生なので後悔しないように頑張ってください！

政治経済学部1年

今頑張りましょう！特に社会はどれだけやったかが点数に直結します。本当に過酷な受験勉強ですが、この1年弱の努力によって人生が変わります。自分の決めた道を実現できるよう日々頑張ってください。明治大学で待っています！